

FC岐阜、地域振興グループによる活動

地域振興グループではスクールチーム、ホームタウンチームと販売チームの3つのチームが活動しておりますので紹介します。

スクールチームでは年間を通じて、小学生のサッカースクール活動を県内9か所で実施しており、約400名の小学生が年別のチームで毎週1回サッカーを学んでいます。

今年から、FC岐阜のプロ選手であった益山司スクールコーチを加え、子どもたちへスキルアップの指導活動に熱が入っており、年間316回に及びます。

FC岐阜としては2030年には、トップチームに岐阜出身の選手を30%に増やして、郷土の誇りとなる更に強いチームづくりを目指しています。

また、夏休み期間中には今年は7月末に郡上市のフォレストパーク373でサッカー合宿の他に自然体験、乗馬、手作りパンや食品サンプル作り等で多くのの子供たちが、楽しさを共有しました。

8月22日、23日には島西グラウンドで愛知県と岐阜県の小学5～6年生の10～14チームがFC岐阜フットボールチャンピ

オンシップに参加し、夏休みをトーナメント戦で締めくくり楽しんでもらいます。

一方、ホームタウンチームではスタッフが、県下の幼稚園、小学校、養護施設や老健施設などでサッカーや駆けっこ、健康体操などの社会貢献活動に社業として取り組んでいます。

昨年は県内の全42市町村で550回の指導等を実施し、Jリーグ53チーム中で第7位の回数にまでなっており、注目されています。

販売チームはFC岐阜グッズの企画、販売を行い、また、ファンクラブの運営を行っています。今年は10周年記念バッジ、夏季限定記念ユニフォーム、全市町村コラボタオルマフラーの企画販売と、ファン待望の公式マスコットグッズの販売などを行い、ファンの皆様に喜んで楽しんでいただけることを常に考え、実行しています。

いずれもFC岐阜の重要な役割を担って頑張っておりますので指導のほどよろしくお願いたします。



益山司スクールコーチ 写真：©FC GIFU

